

令和元年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市アイスアリーナ（MGC三菱ガス化学 アイスアリーナ）		
管理者名	㈱新潟パティネレジャー	指定期間	平成26年2月1日 ~ 令和11年3月31日
担当課	文化スポーツ部スポーツ振興課		
所在地	新潟市中央区鐘木257-17		
根拠法令			
設置条例			
施設概要	敷地面積 9,994㎡、 建築面積 5,440㎡、 延床面積 5,499㎡ 建築規模 鉄骨造地上2階建 主な諸室 メインリンク（30m×60m国際規格）、サブリンク（15m×45m）、 観客席998席（固定席688席・可動席232席・仮設席78席）、選手更衣室、休憩軽食コーナー 多目的室、おやこルーム、会議室、救護室、事務室		

施設設置目的
市民の健康増進及び氷上スポーツの普及・振興を主な目的に、市民の交流、地域の活性化を促進し、本州日本海側唯一の通年型氷上スポーツ施設として、市県外からの交流人口の拡大を図ることを目的として設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
(1) 施設の利用促進 【課題】 ・施設利用者のニーズに応え、リーズナブルで利便性の高いサービスの提供に努める。 ・施設を有効活用して、さまざまな人々が集い交流できるスポーツ施設とする。 ・障がい者等の利用に配慮し、誰でも気軽に利用できる施設とする。 (2) 氷上スポーツの普及振興 【課題】 ・氷上スポーツ教室や競技会・イベントの運営、支援、氷上スポーツの普及・振興に積極的に寄与する。 ・校外活動や団体利用を積極的に受け入れ、氷上スポーツの普及に努める。 (3) 施設が安全かつ快適に利用できる品質、水準の保持 【課題】 ・良質な氷の環境とし、安全で気持ち良く滑走できるリンクとする。 ・施設の環境を良好に保ち、施設利用者の健康被害を防止する。 (4) 省資源、省エネルギーに努めた管理の実施。 【課題】 ・館内の適切な温湿度管理を行い、省エネによる維持管理費の低減、CO2排出量の削減に努める。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	広報の充実	ホームページ等による情報提供を月4回以上更新	4.3	B	より積極的な情報発信に努めること。
		ホームページアクセス数年間250,000件以上	117,592	C	利用者がアクセスしやすい環境を整え、タイムリーに情報を発信し、アクセス数の増加を図ること。
	基準利用者数の達成	施設利用者数(リンク利用者)年間140,000人以上	116,256	C	新規利用者の獲得とリピーターの増加に向けて対策を講じること。
		氷上スポーツ教室申込者数7,000人以上	4,369	C	利用者ニーズの把握に努め、教室内容の充実を図ること。
		校外活動利用数220団体以上	180	C	学校への広報や調整を行い、申込件数の増加を図ること。
		団体利用数190団体以上	79	C	積極的なPRを行い、申込件数の増加を図ること。
	基準稼働率の達成	年間稼働日数364日以上	337	C	新型コロナウイルス感染拡大防止のための施設休館により、目標を下回ったが、的確に対応した。
		専用利用率(利用日数/365)95%以上	98.81%	A	定期的な利用を確保できている。
		氷上スポーツ教室開催数500回以上	460	C	新型コロナウイルス感染拡大防止のための施設休館により、目標を下回ったが、開催予定数は目標を達成していた。引き続き、利用者ニーズに合致した教室の開催を継続すること。
	設置目的に合致したサービス提供	送迎バス利用者5,000人以上	2713	C	県外・市外利用者への対応を含め、送迎バスの有効活用及びPR方法について検討すること。
		氷上スポーツ教室に継続して2か月以上参加数1,600件以上	988	C	参加者のレベルに合わせた段階的な教室の開催など、開催日も含めて教室内容を検討すること。
		スケート教室指導員参加者20人に対し1人以上配置	全教室配置	B	適切に対応した。
		飲食・物販サービスに対する満足度で「満足」が70%以上	79%	B	適切に対応した。
		接客に対する満足度で「満足」が90%以上	91%	B	引き続き、利用者ニーズを捉えたサービス提供を継続すること。

財 務	エネルギーの効率的な利用	水光熱費を年間 円以下	22,000,000	17,301,583	B	経費の節減が適切に行われている。引き続き削減に努めること。
	管理運営経費の削減	管理運営経費を年間 円以下	50,000,000	44,920,729	B	経費の節減が適切に行われている。引き続き削減に努めること。
業 務	施設・設備に起因する苦情、事故	0件		0件	B	適切に対応した。
	法令で規定する点検検査の実施	100%		100%	B	適切に対応した。
	防災訓練の実施	年2回以上		2回	B	適切に対応した。
	事業計画、事業報告の適切さ	連絡会議月1回以上		月1回	B	適切に対応した。
	業務仕様書	業務仕様書等に定める事項の遵守	要求水準書以上の業務を実施		B	適切に対応した。
人 材	従業員のスキルの習得	職員研修を年10回以上実施		12回	B	目標以上に実施した。
	外部研修・講習会の受講	年1回以上受講		1回	B	適切に対応した。
	人員条件の充実	氷上スポーツ講師資格者5人以上		5人	B	適切に対応した。
		スケート監視員可能スタッフを10人以上雇用		35人	A	利用者の安全のため目標数以上の雇用を行っている。
		救護に関する有資格者3人以上		3人	B	適切に対応した。
労働基準の充足	労働基準法の遵守		違反行為無	B	適切に対応した。	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から施設が一時休館となった為、営業日数、団体利用数、教室参加者等が昨年度と比べて減少致しました。今後は社会情勢や最新情報を注視し、感染拡大防止対策を徹底して来場者数の回復に努めます。

所管課による総合評価(所見)

従業員の研修等の受講やスキルの獲得、人員条件の充実において目標を上回っており、安全な施設運営に積極的に取り組んでいることは評価できる。また、目標は上回らなかったが、昨年度に比べてホームページによる情報発信回数やアクセス数の増加、利用者満足度が向上していることや、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための施設休館により、氷上スポーツ教室の開催数は目標を下回ったが、開催予定数は目標を上回っていたなど、氷上スポーツの普及促進に積極的に取り組んでいることも評価できる。一方で、施設休館による影響もあるが、個人利用者数、団体利用者数、校外活動利用者数は目標を下回っているため、新規利用者及びリピーターの獲得に向けて、引き続き多角的に検討を重ねてもらいたい。